

ARCHITECTURE  
DESIGN CONCOURS 2004

高校生建築デザイン  
コンクール

発行/北海道建設部建築整備室計画管理課  
札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL.011-231-4111 内線29-868

印刷/社会福祉法人 北海道リハビリ 平成16年12月発行

主催/北海道・(社)日本建築家協会北海道支部・(社)北海道建築設計事務所協会・(社)北海道建築士会

ARCHITECTURE  
DESIGN CONCOURS 2004

高校生建築デザイン  
コンクール

平成16年度

課題/「国立公園内の避難小屋」

00.00.23

00.00.24

00.00.25

00.00.26

00.00.27

00.00.28

00.00.30

00.00.29

00.00.28

00.00.27

00.00.26

00.00.25

00.00.24

00.00.23

00.00.22

00.00.21

00.00.30

00.00.29

00.0

00.08.65

00.08.64

00.08.63

00.08.62

00.08.61

00.08.60

00.08.59

00.03.53

00.03.58



## はじめに

公共建築物には、社会の多様なニーズに対応するコミュニティの交流拠点施設として、安全・安心、機能性、快適性の確保はもとより、生涯にわたり地域住民に広く親しまれ、地域のシンボルとしての役割を担うことが求められております。

道民に親しまれる公共建築物の整備を進める一環として、平成8年度から高校生建築デザインコンクールを実施し、道内の工業高校生（建築系）を対象にユニークなアイデアを募集し、その提案を実際の建築設計に取り入れてまいりました。

平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、（社）日本建築家協会北海道支部、（社）北海道建築設計事務所協会、（社）北海道建築士会との共催事業としております。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍していく上で貴重な財産になるものと期待しております。

北海道におきましては、この度選定された最優秀作品の設計主旨やデザインを踏まえて、登山者の安全確保を図るための施設づくりに取り入れ、道民に永く親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、コンクールの実施にあたり、各高等学校をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんの今後ますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成16年12月

建設部長 山上徹郎

## 平成16年度 高校生建築デザインコンクールの概要

より道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

**課 題** 「国立公園内の避難小屋」  
課題である国立公園内の避難小屋は、登山利用者の安全確保をはかるため、整備を進めるものであり、宿泊施設である山小屋とは区別していますが、夏期には管理人が常駐していることから、ある程度山小屋的な利用も考慮に入れた施設として位置づけられています。

**応募資格** 道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

**提出図面** J1S規格A2判（420×594）1枚片面に下記の全ての図面を描く。

- ①設計主旨
- ②配置図
- ③平面図：1/50
- ④断面図：1/50
- ⑤立面図：1/50
- ⑥スケッチ
- ⑦建築概要

**応募総数** 48作品

**入選作品** ・最優秀作品1点 ・優秀作品3点 ・佳作 4点

**審査経過** 募集要項送付 平成16年5月30日  
作品受付 平成16年9月6日～平成16年9月15日  
選定委員会 平成16年11月5日  
作品展 平成17年1月11日～平成17年1月14日

**選定委員** 阿部勝義 北海道建設部建築整備室建築課長  
村井公裕 北海道環境生活部環境室自然環境課長  
太田潤一 北海道教育庁生涯学習部高校教育課指導主事  
三栖 博 （社）日本建築家協会北海道支部副支部長  
西村 武 （社）北海道建築設計事務所協会副会長  
木村 忠 （社）北海道建築士会まちづくり委員会副委員長





## 審査 講評

高校生建築デザインコンクールは、平成8年度から実施し、今年度で9回を重ねてまいりました。工業高等学校(建築系)に在籍する建築を志す生徒の皆様からアイデアを募集し、最優秀作品の主旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるためのもので、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールが今年度も盛会に進めることができました。選定委員会を代表して関係各位に対しまして御礼を申し上げます。

今回の課題は、国立公園内に建つ「避難小屋」のデザインで、登山利用者の安全確保を図るため、整備を進めるものであり、宿泊施設である山小屋とは区別をしていますが、夏期には管理人が常駐していることから、ある程度山小屋的な利用も考慮に入れた施設として位置づけられています。

日常生活の中で利用される施設ではなく、山岳地帯という厳しい自然条件の中で安堵感が得られる空間であることや周辺の自然環境との調和など、とても難しい課題ではありますが、応募された作品にはそれぞれに工夫の跡が見られ、やりがいのある取り組みになったものと感じております。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を生かしているか。
- ・実施設計に反映させ得るデザインであるか。

上記のポイント等、審査を重ねた結果、最優秀作品1点、優秀作品3点、佳作4点を選定致しました。

最優秀作品賞に選ばれた加藤浩幸さん・村松範明さん・太田和彦さん(グループ)の作品は、厳しい自然条件への対応と自然との調和をデザインに取り込み、環境に配慮したコンセプトで設計されており、デザインの中にも、高校生らしい若々しさが感じられる作品として高く評価を得て選定されました。また、加藤浩幸さんは2年生ですが、昨年の最優秀作品賞に続き2年連続の栄えある受賞、本当におめでとうございます。

優秀作品賞の藤田稔也さんの作品は、登山者の休憩、やすらぎの場としての利用と時には過酷な環境にも耐えられる建物で、避難小屋として頑丈で安心感の持てる様に設計されている作品として評価を得て選定されました。

築田拓幸さんの作品「天斗」はその名のとおりテントをモチーフとした山岳地帯の風雪に耐えうる頑強さ、利用者が建物に入ったときの空間の広さによる安堵感など人々への利用を意識した点も高く評価されました。

後藤謙一さん・梶高彰さん(グループ)の作品は、山岳をイメージしたシンボリック性や避難する登山者の誘導を考えた高校生らしい大胆なデザインが評価されました。

佳作に選ばれた原田麻美さんは、昨年の優秀作品賞に続き、2年連続受賞されました。本当におめでとうございます。

このほか佳作に選ばれた、宮井誠子さん、井出孝さん・西村清志さん(グループ)、西原信哉さんの4作品とも力作ぞろいであり、また惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい新鮮なアイデアに溢れる提案が数多くありましたことを申し添え、今回のご応募いただきました皆様の今後の活躍をご期待申し上げます。

平成16年度高校生建築デザインコンクール選定委員会委員長  
北海道建設部建築整備室建築課長 阿部 勝義

## 平成16年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

### 最優秀作品賞(1点)

加藤 浩幸 (札幌工業高等学校建築科 2年)  
村松 範明 (札幌工業高等学校建築科 2年)  
太田 和彦 (札幌工業高等学校建築科 1年)  
(グループ)

### 優秀作品賞(3点)

藤田 稔也 (函館工業高等学校建築科 2年)  
築田 拓幸 (函館工業高等学校建築科 2年)  
後藤 謙一 (北見工業高等学校建設科 3年)  
梶 高彰 (北見工業高等学校建設科 3年)  
(グループ)

### 佳 作(4点)

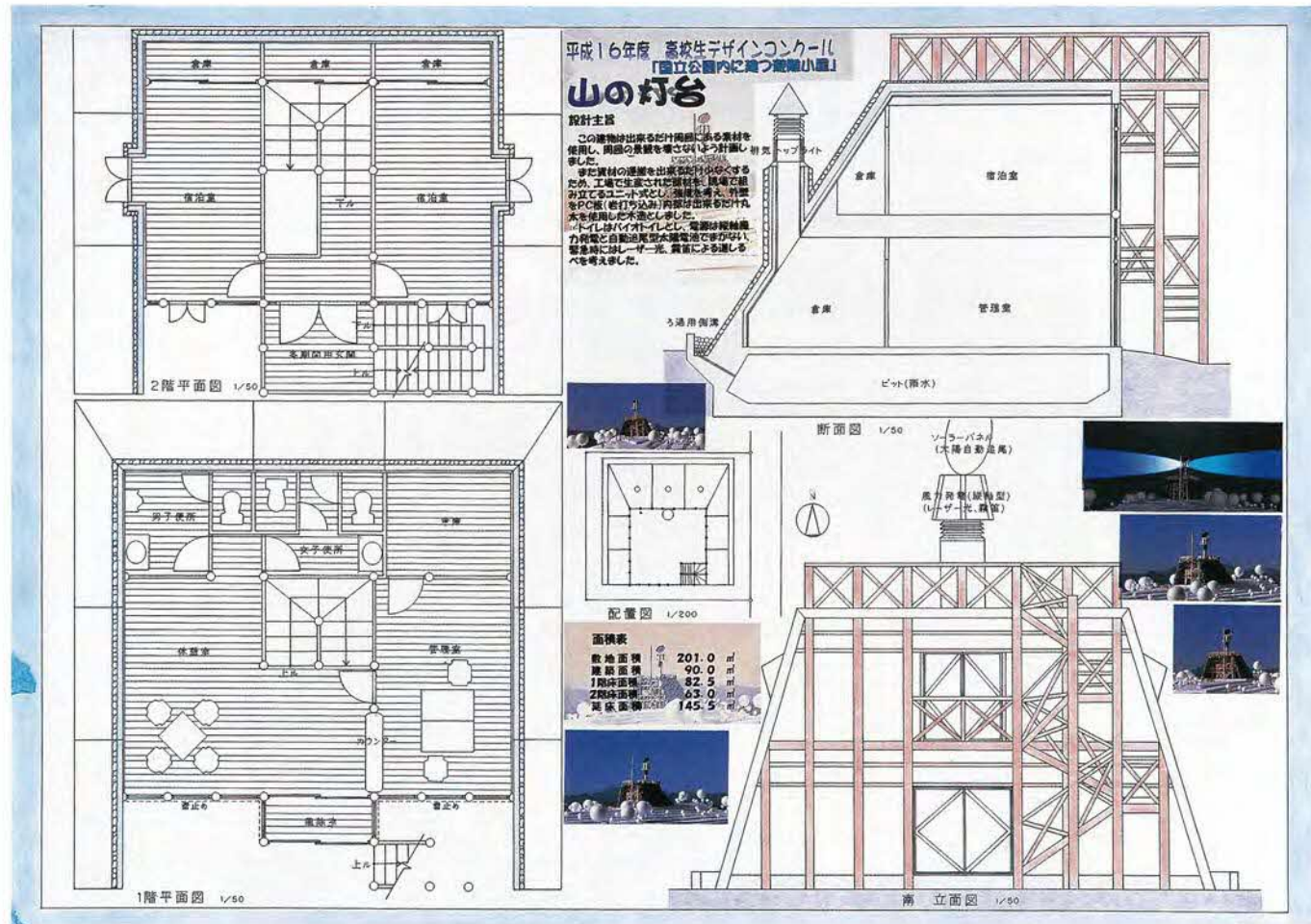
原田 麻美 (函館工業高等学校建築科 3年)  
宮井 誠子 (旭川工業高等学校建築科 3年)  
井出 孝 (釧路工業高等学校建築科 3年)  
西村 清志 (釧路工業高等学校建築科 3年)  
(グループ)  
西原 信哉 (北見工業高等学校建設科 3年)



# 入賞作品

最優秀  
作品賞

札幌工業高等学校 (グループ)  
加藤 浩幸 [2年] ・ 村松 範明 [2年] ・ 太田 和彦 [1年]



設計主旨

この建物は出来るだけ周囲にある素材を使用し、周囲の景観を壊さないよう計画しました。  
 また資材の運搬を出来るだけ少なくするため、工場で生産された部材を、現場で組み立てるユニット式とし、強度を考え、外壁をPC板(岩打ち込み)内部は出来るだけ丸太を使用した木造としました。  
 トイレはバイオトイレとし、電源は縦軸風力発電と自動追尾型太陽電池でまかない、緊急時にはレーザー光、霧笛による道しるべを考えました。

# 入賞作品

優秀作品賞

函館工業高等学校  
藤田 稔也 [2年]



設計主旨

この建物は、登山者の休憩・やすらぎの場としての利用と、時には過酷な環境になる高山で、避難小屋として頑丈で安心感の持てるよう設計しました。そのため、外へ大きく伸びた梁は建物を構造上安定させるだけでなく、実際の建物以上に大きく見せ、安定感を出すことにも一役買っています。そして、吹き抜けや2階の高い天井はゆとりがあり、できるだけ木材を使用した内外装は木の温もり、やすらぎを与え、登山者の心と体の疲れを癒してくれることでしょう。

優秀作品賞

函館工業高等学校  
築田 拓幸 [2年]



設計主旨

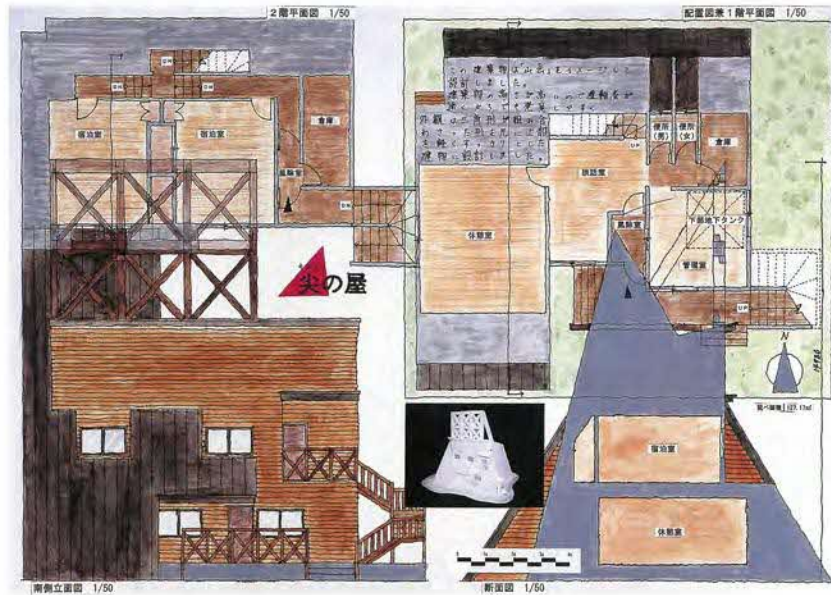
「天斗」はその名前の通りテントをモチーフとした木造二階建ての建築物である。「天斗」は自然との調和を図る為に外装、内装共に配色を緑色と茶色をベースとし、電気は風力発電電を使う。周囲の景観を壊すことなくそびえたつのがこの「天斗」である。



# 入賞作品

優秀作品賞

北見工業高等学校 (グループ)  
後藤 謙一 [3年]  
梶 高彰 [3年]



## 設計主旨

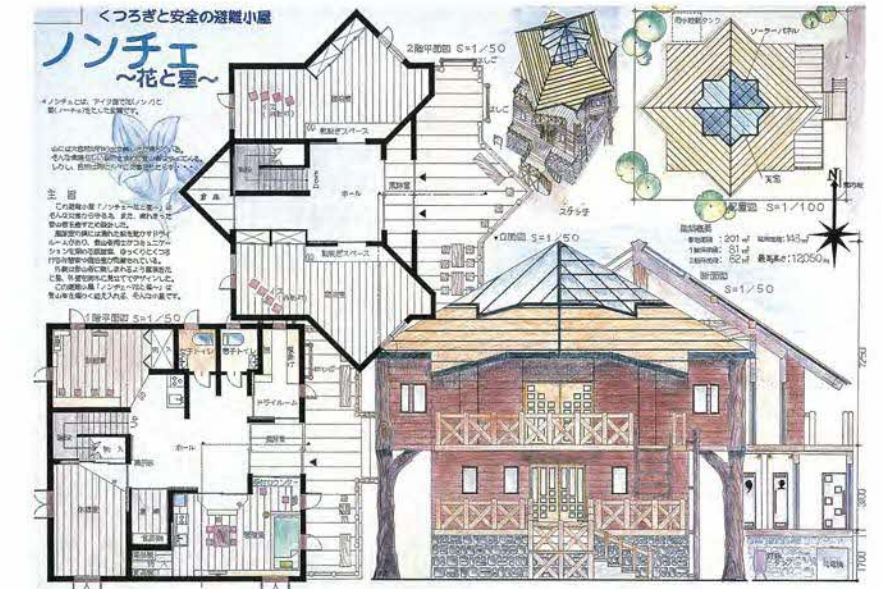
この建築物は「山岳」をイメージして設計しました。  
建築物の高さが高いため避難者が遠くからでも発見しやすく、外観は三角形が組み合わさった形を元に上部を軽くすっきりとした建物に設計しました。



# 入賞作品

佳作

函館工業高等学校  
原田 麻美 [3年]

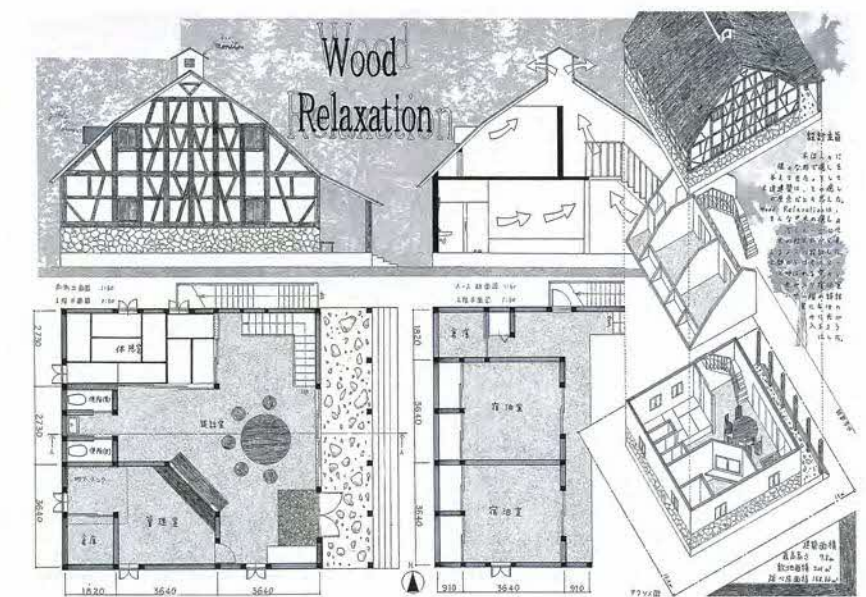


## 設計主旨

山には大自然が作り出す美しさが満ちている。そんな素晴らしい自然を求めて登山者はやってくる。しかし、自然は時に人々に災害をもたらす・・・  
この避難小屋「ノンチェ〜花と星〜」はそんな災害から守る為、また、疲れきった登山者を癒すため設計した。風除室の隣には濡れた服を乾かすドライルームがあり、登山者同士がコミュニケーションを深める談話室、ゆっくりとくつろげる休憩室や宿泊室が完備されている。  
外観は登山者に親しまれるよう屋根を花と星、外壁を樹木に見立ててデザインした。  
この避難小屋「ノンチェ〜花と星〜」は登山者を暖かく迎え入れる、そんな小屋です。

佳作

旭川工業高等学校  
宮井 誠子 [3年]



## 設計主旨

木は人々に様々な形で癒しを与えてきた。そして木造建築は、その癒しの原点だとも思えた。Wood Relaxation は、そんな「木の癒し」をイメージして木の柱を外から見えるように設計した。上部からはモニターと呼ばれる窓から光が入り宿泊室や一階の談話室にもほのかに光が入るようにした。

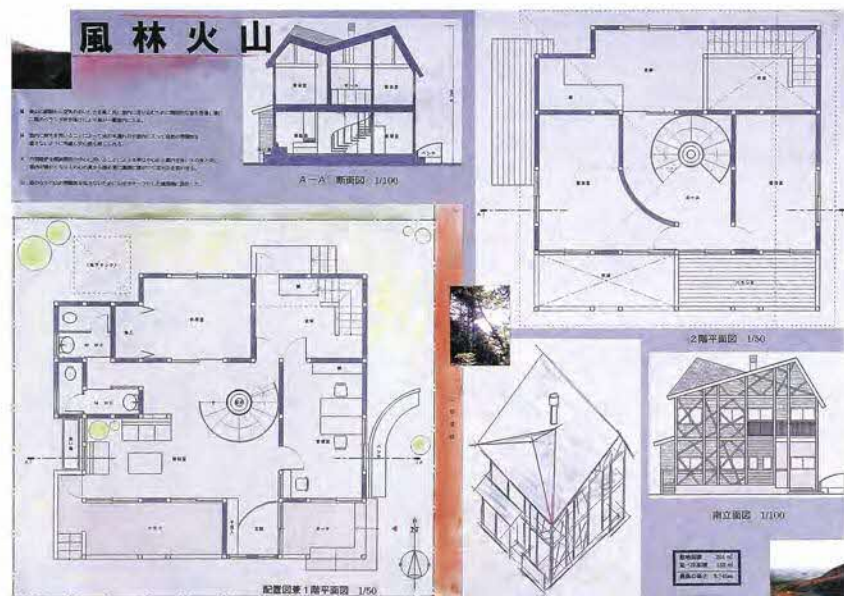


# 入賞作品

佳作

釧路工業高等学校 (グループ)

井出 孝 [3年]  
西村 清志 [3年]



設計主旨

**風** 登山の経験から空気のおいしさを風と共に室内に送り込むために開放的な窓を考慮し更に二階のベランダ吹き抜けにより風が一層室内に入る。  
**林** 室内に樹木を用いることによって光の木漏れ日や室内に入って自然の雰囲気や壊さないように考慮し安心感も感じられる。  
**火** 円型暖炉を螺旋階段の中心に用いることにより冬季は中心から室内を赤い火の光と共に室内が暖かくなり人の心の真から暖め更に屋根に煙がでて活火山を思わせる。  
**山** 森のなかの山の雰囲気や乱さないために山をモチーフにした建築物に設計した。

佳作

北見工業高等学校  
西原 信哉 [3年]



設計主旨

この避難小屋のイメージは鳥です。親鳥が自分の子供を守るのをイメージし、避難した人々を守るという意味もこめました。また、この避難小屋は山小屋としても利用されることから人が足を休めて休憩するのを鳥が休憩する時に羽を休めるイメージもあわせもつものとし、小屋上部に鳥をかたどりました。

# 平成16年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

## 札幌工業高等学校

- 加藤 浩幸 [2年] 村松 範明 [2年]
- 太田 和彦 [1年] ..... 3名グループ
- 山本麻美子 [3年] 鈴木名 将 [3年] ..... 2名グループ

## 函館工業高等学校

- 原田 麻美 [3年] 山田 実奈 [2年] ..... 2名グループ
- 小澤 里佳 [2年] 千葉ともみ [2年]
- 中村 絵美 [2年] ..... 3名グループ
- 岩城 美幸 [2年] 斎藤ゆかり [2年] ..... 2名グループ
- 石坂 香織 [2年]
- 佐藤 朱 [3年]
- 吉田久留美 [2年] 笠原絵梨香 [2年]
- 熊谷 真実 [2年] 西村沙紀子 [2年] ..... 3名グループ
- 佐々木智也 [2年] 大谷修一郎 [2年] ..... 2名グループ
- 関 貴宏 [2年]
- 境 真理恵 [2年]
- 中野 雄夫 [2年]
- 築田 拓幸 [2年]
- 相澤佳那恵 [2年]
- 若狭あさみ [2年] 内城 亜美 [2年] ..... 2名グループ
- 伊藤 毅 [2年]
- 藤田 稔也 [2年]

## 小樽工業高等学校

- 吉田奈緒子 [3年] 佐々木悠衣 [3年] ..... 2名グループ
- 木村 功一 [3年] 岩崎 翼 [3年] ..... 2名グループ
- 川端 祐介 [3年] 福原 史也 [3年]
- 真酒谷勇喜 [3年] ..... 3名グループ

## 旭川工業高等学校

- 奥 智之 [3年] 是元 健吾 [3年] ..... 2名グループ
- 宮井 誠子 [3年]
- 菊地 由香 [3年]

## 名寄光凌高等学校

- 五十嵐隆文 [3年]
- 池田 祐樹 [3年]
- 遠藤 広基 [3年]
- 中島 靖裕 [3年]
- 齋藤比呂彰 [3年]
- 千葉 省吾 [3年]
- 長野亜里沙 [3年]
- 南部 和樹 [3年]
- 浜本 誠 [3年]
- 横山 香織 [3年]
- 吉田 諒 [3年]
- 塚本 裕樹 [3年]
- 鹿山 準 [3年]

## 釧路工業高等学校

- 井出 孝 [3年] 西村 清志 [3年] ..... 2名グループ

## 帯広工業高等学校

- 麻生 合欽 [3年]
- 高田 佳奈 [3年]
- 八代 知子 [3年]
- 吉村 美紅 [3年]
- 西垣 光 [3年]
- 片岡亜矢子 [3年]
- 今越早矢香 [3年]

## 北見工業高等学校

- 太田 佳宏 [3年] 菅原 和哉 [3年] ..... 2名グループ
- 後藤 謙一 [3年] 梶 高彰 [3年] ..... 2名グループ
- 西原 信哉 [3年]

計48作品 (67名)

## 高校別応募作品数一覧

学 校 名	平成16年度
札幌工業高等学校	2
函館工業高等学校	16
小樽工業高等学校	3
旭川工業高等学校	3
名寄光凌高等学校	13
釧路工業高等学校	1
帯広工業高等学校	7
北見工業高等学校	3
(計)	48